



# 御豊瀬（みませ）

## 御豊瀬地域

### 【位置】

- 高知市の南部、浦戸湾内の西側に位置
- オーテピアから車で20分

### 【地域特性】

- 漁港を中心に集落が形成されている。
- 特産は沖ウルメ、メヒカリなど海産物
- 30年間で人口約64%減
- 高齢化率65% (R4. 4. 1)
- 『長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画』策定(R2. 3) ※1
  - ・地域おこし協力隊2名
- 市内で唯一学校がない地域
  - ・H24御豊瀬小学校閉校
- 廃校を活用した『こうちみませ楽舎』で地域おこし活動
- 昭和の雰囲気が残るレトロなまち
- 地震発生時、沿岸部で最大15mの浸水深予測。20～30分で迅速な避難必要
- 土砂災害危険個所に指定

※1 計画中の「交流人口」は、3地域を訪れる人だけでなく住民同士の交流も含める

### 【地域資源】

- 高知市御豊瀬ふれあいセンター（水防収容避難所に指定）
- こうちみませ楽舎
- グループホーム「愛夢潮風」
- 御豊瀬漁業協同組合



御豊瀬ふれあいセンター

## 御豊瀬分室

### 【施設】 ※R5. 3. 31現在

- ・高知市御豊瀬ふれあいセンター2階
- ・延床面積 45㎡
- ・蔵書点数 9,855点
- ・貸出資料点数 6,018点
- ・貸出利用者数 1,964人
- ・利用時間 [火～金]13～17時 [土]10～17時 [日]10～13時

### 【特徴・課題】

- 居住者以外の利用による貸出が多い。
  - ・御豊瀬<長浜ほぼ2倍
- 蔵書構成は児童資料の方が多。
- 固定利用者が多い
  - ・読み聞かせボランティアなど
- 子どもの利用は月に数人
  - ・長期休みに帰省あり
- 高齢者は重い本が苦手
  - ・大活字本×、雑誌◎
- 分室主催の大人向け映画会への参加者が多い(25人)
- 雑誌のリサイクル配付が大人気
- 地域住民がふれあいセンターに来ても2階まで上がってこない。
  - ・階段を上がるのがきつい
- 広報手段は館内掲示や町内会掲示板
  - ・掲示板はごみステーションになっているため見る人が多い(10か所程度)
- コロナ前はグループホーム職員が借りていた。



御豊瀬分室 展示

### 【方向性】

- ・上がれないなら下ろす、来ないなら行く
- ・得意を伸ばす
- ・『振興計画』に沿って広域的に長期的に取り組む

### 【今後の取組・取組アイデア】

#### ■蔵書

- ・児童書より一般書の割合を増やしていく。
- ・帰省など子どもが来る時期は児童書を本館から取り寄せる等工夫
- ・本館選書担当同士で情報共有しながらバランスよく配置
- ・『コテピア』を活用してニーズを把握
  - ⇒6月からコテピアを利用開始
- ・録音図書など視聴覚のコテピア展開も検討

(※)コテピア  
オーテピアの資料  
を取り寄せて展示

#### ■展示

- ・ふれあいセンター1階に本を置き、気軽に利用してもらう。
  - ⇒センター長の許可をとり、雑誌コーナーを1階に移動済み。おすすり本の展示も計画中
- ・『こうちみませ楽舎』の活動を多くの人に知ってほしい(市地域活性推進課)
  - ⇒5月にオーテピア高知図書館で連携展示を実施

#### ■団体貸出

- ・グループホームへ貸出再開の声掛け
- ・こうちみませ楽舎開校時に関連本を貸出(市地域活性推進課)
- ・地域住民が集まるお店などに本を置く(古民家カフェ)

#### ■その他

- ・定期的な映画会の開催。定着すると集いの場にもなり得る。(「きてもこんでもえいが(映画)会」)
- ・避難所開設時に避難住民や水防職員のために分室の本を提供
- ・振興計画3地域を広域的なサービスエリアとして捉え、長浜分館、御豊瀬分室、浦戸分室のバランスのよい図書館サービスを展開



「こうちみませ楽舎」展示  
※関連資料のべ100冊貸出



こうちみませ楽舎制作  
“こうちこころへんかた”



コテピア

## 土佐山地域

### 【位置】

- 高知市の北東部、鏡川源流域に位置する中山間地域
- オーペピアから車で約30分

### 【地域特性】

- H17.1.1 高知市に編入合併**(旧土佐郡土佐山村)
- 90%以上が森林、10地区あり
- 高齢化率40%(R4.4.1)
- 昼間人口は20代30代が増える**
- 特産はユズ、ショウガ、四方竹
- 土佐山鉱山(石灰石の採掘場)
- 有機・無農薬栽培の野菜作り
- 地産外商の取組**が活発
- 高知市立義務教育学校「土佐山学舎」**
  - ・小中一貫校(H28から)
  - ・全校生徒(145人)半数以上が校区外
  - ・英語教育に力をいれている
  - ・リーディングDXスクール事業指定校
- 「社会学一体」の風土
- 史跡、民俗文化財など多い

### 【地域資源】

- 高知市立土佐山公民館
- 高知市役所土佐山庁舎
- 地域内連携協議会・土佐山夢づくりの会
- オーベルジュ土佐山
- 高知市立工石山青少年の家
- 高知市土佐山健康福祉センター
- 高知市土佐山へき地診療所
- 特定非営利法人土佐山アカデミー
- JA土佐山支所
- (一財)夢産地とさやま開発公社
- 土佐山産地パーク交流館
- とさやま土づくりセンター
- 土佐山学舎・とさやま保育園
- 郵便局、農産物直売所、駐在所

## 土佐山分室

### 【施設】※R5.3.31現在

- ・高知市立土佐山公民館1階
- ・延床面積 100㎡
- ・蔵書点数 13,500点
- ・貸出資料点数 2,806点
- ・貸出利用者数 707人
- ・利用時間 [火~金]13~17時  
[土]10~17時 [日]10~13時

### 【特徴・課題】

- 貸出はほぼ土佐山地域の住民**
- 登録利用者の割合は40~49歳女、7~9歳女、10~12歳女が多い
  - ・保育園の行き帰りに親子の利用あり
- 個人貸出点数のうち児童の割合が分室平均の2倍を維持**
- 毎月1回土佐山学舎で読み聞かせ
- 公民館で英語や書道の教室をやっていたときは保護者が図書室で子どもを待っていたが現在はコロナで中止
- 仕事をしている人は分室開館時間内の利用は難しい**
- 土佐山地域は広域であり地域住民がふらりと分室に寄るような環境ではない。
- 施設に入る手前に急勾配の坂あり
  - ・**高齢者は上がってこない**
- 高知市との合併以前はちゃんとした図書室がなかったため地域の人は**図書室に行くのが大変**



←この坂を上げると土佐山分室  
高齢者にはきつい

### 【方向性】

- ・上がれないなら下ろす、来ないなら行く
- ・地域資源である団体にアプローチ
- ・土佐山学舎の学びを支援
- ・極小規模の基礎自治体として考える

### 【今後の取組・取組アイデア】

- 図書室**
  - ・初めての人でも入りやすいウェルカムな雰囲気づくり
  - ・地域資料が少ないため意識して収集する。
- 団体貸出**
  - ・**地域住民が集まる場所**
    - 健康福祉センター、青少年の家、分室の坂下にある直売所、庁舎、郵便局 等
  - ・**農産物の加工場**など一次産業二次産業の関連施設
    - 仕事に必要なもの、休憩中に読めるもの(小説、雑誌ほか)
  - ・**オーベルジュ土佐山** ※公設民営の宿泊ホテル
    - 時計やテレビを置かず“何もなし”というコンセプトに便乗
  - ・人気のカフェに本を置いて話題づくり
- 連携**
  - ・**市土佐山地域振興課** ※土佐山地区の核
    - 地域固有の連携システムなどを情報共有しながら進める。郊外型テレワーク・シェアオフィス事業を図書資料で支援する。
  - ・**土佐山学舎**
    - 特色ある取組に対し**図書館ができる支援を検討**(市学校教育課)
  - ・土佐山アカデミー(地域活性、移住定住など)
    - 効果的な連携の仕方について要検討
  - ・公民館事業に出前図書館等で連携
- その他**
  - ・**図書室利用について改めて広報を行い個人利用に繋げる。**
  - ・移動図書館や配本所等のニーズの把握
  - ・避難所開設時に避難住民や水防職員のために分室の本を提供



土佐山学舎



オーベルジュ土佐山

(※公式ウェブサイトから)